

# 新春対談



平和な世界や心の平安に  
貢献する音楽の力というものを  
実感しました。保坂区長

音と音の調和の上に  
成り立っている音楽を、  
私たちは見習いたいですね。  
宮川彬良さん

音楽で、人と人の  
心をつないで  
いくことが  
できたらと  
思っています。  
亀田誠治さん

「せたがや音楽研究所」の所長であり、大ヒットした「マツケンサンバⅡ」で知られる作曲家・舞台音楽家の宮川彬良さん。音楽プロデューサーでベーシスト、昨年はロックシンガー ジャニス・ジョプリンの生涯を描いたブロードウェイのミュージカルを日本で総合プロデュースされた亀田誠治さん。そして、若い頃にジャニス・ジョプリンの大ファンだったという保坂区長。音楽の持つ無限の可能性を感じさせてくれるお話となりました。

**区長** あけましておめでとうございます。令和5年の新春対談は、音楽に携わるお二人にお越しいただきました。作曲家でピアニストの宮川彬良さん、音楽プロデューサーでベーシストの亀田誠治さんです。

**宮川さん・亀田さん** あけましておめでとうございます。よろしくお祈りします。

**区長** さて、宮川さんは「せたがや音楽研究所」の所長という肩書きで、毎回ユニークな企画の音楽会を開催されています。また、NHKの子ども向けテレビ音楽番組「クインテット」は10年以上続いた超人気シリーズでした。

**宮川さん** 番組が終わってからもう10年。番組を見てくれていた子どもたちは社会人になっていますが、いまだに「あ、アキラさんだ」なんて声をかけられます。とにかくあの番組ではたくさん曲を作りました。オリジナル曲、クラシックや童謡のアレンジ曲、数えると600曲くらいになりますね。

**区長** そして宮川さんといえば、やはり「マツケンサンバⅡ」ですが、この曲はどんなふうに生まれたのですか。

**宮川さん** あれはね、歌えたんですよ。歌詞を見たら、自然に歌えたんです。「叩けポンゴ!」「オーレ、オーレ!」って(笑)

**亀田さん** メロディーが降りてきた…という感じですか。

**宮川さん** 降りてきたというか、知っていたという感じで。1回歌えて、メモも何もしていないのにまた歌えて、3回続けて歌えたので、これはもうOKだなと。あとはゆっくり、今歌っ

た通りに譜面に書いていきました。

**亀田さん** うらやましいな、僕はそういう奇跡が絶対ない人間です(笑)

**宮川さん** 僕もそんな経験は後にも先にもこの1回だけです(笑)

母親が歌ってくれた子守唄、  
十代の頃に夢中になった音楽が原点

**区長** 亀田さんはスピッツやGLAYから石川さゆりさんまで、幅広くプロデュースされており、ロックバンド「東京事变」ではベースを弾かれています。

**亀田さん** いろいろなことに関わることで、いつもフレッシュな気持ちで音楽を続けてこれている感じですね。

**区長** 昨夏は早逝したロックシンガー、ジャニス・ジョプリンの生涯を描いたブロードウェイミュージカル「ジャニス」の日本公演総合プロデューサーを務められました。私は若い頃、ジャニスのレコードをすり切れるくらい聴いていて、ジャニスには思い入れがあります。東京国際フォーラムでのステージは素晴らしかったです。

**亀田さん** ありがとうございます。おかげさまで「どうして3日間で終わってしまうの?」と惜しんでくださる声をたくさんいただきました。緊張したのは、本家のスタッフがブロードウェイから観劇に来るんですよ。「誠治、OKだよ」「素晴らしかったよ」と言っていたさま

したが、大人になってもテストってあるんだなと思いました(笑)

**区長** 作曲もプロデュースも大変なお仕事ですが、音楽の道に進まれたきっかけは何だったのでしょうか。

**宮川さん** 僕の場合は父が格好良く見えたので…

**区長** 日本ポップス界の草分け的存在である宮川泰さんですね。



宮川彬良さん

1961年東京都生まれ。作曲家、舞台音楽家。(公財)せたがや文化財団音楽事業部スペシャルプロデューサー。代表作に「ONE MAN'S DREAM」「身毒丸」「ザ・ヒットパレード」「マツケンサンバⅡ」などがある。2021年には、祝祭音楽劇「天保十二年のシェイクスピア」で第28回読売演劇大賞・優秀スタッフ賞を受賞。演奏活動にも精力的に取り組み、「コンサートはショーである」を信条に、様々な企画のコンサートを日本全国で行っている。